

議決権行使レポート

証券コード 5991

会社名 日本発条株式会社

	賛成	反対	棄権
第1号議案 剰余金処分	○		
第2号議案 取締役8名選任			
茅本 隆司 氏	○		
貫名 清彦 氏	○		
吉村 秀文 氏	○		
上村 和久 氏	○		
佐々木 俊輔 氏	○		
末 啓一郎 氏	○		
田中 克子 氏	○		
玉越 浩美 氏	○		
第3号議案 監査役1名選任			
豊田 雅一 氏	○		
第4号議案 監査役補欠者1名選任			
向 宣明 氏	○		

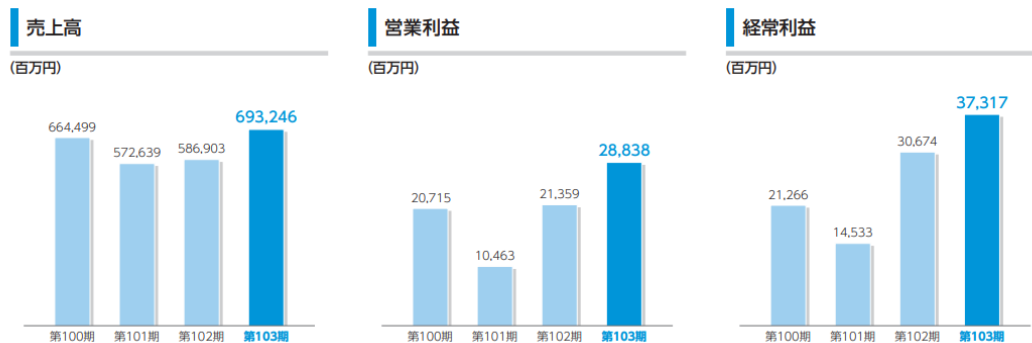
上記の推奨をした理由

〈第1号議案：剰余金処分〉

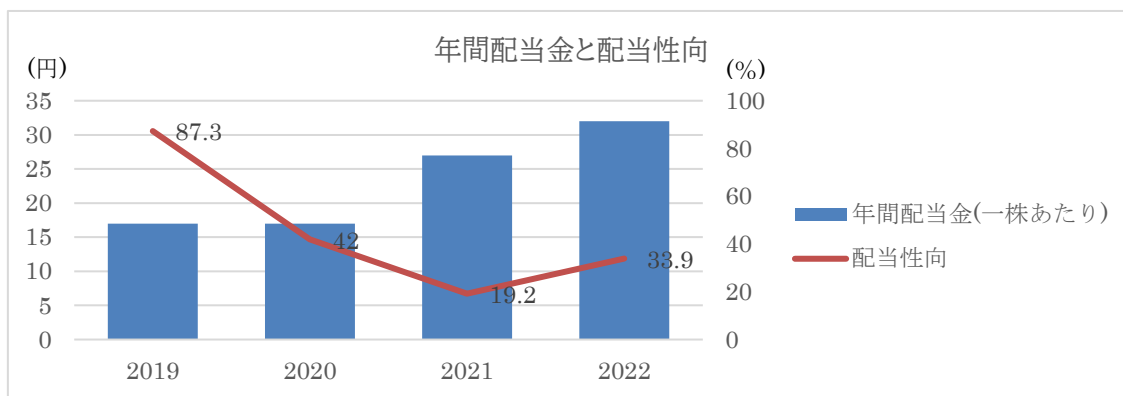
当社は前期に比べ一株につき2円増配し17円にする予定であり、これにより当期の年間配当金は一株につき32円になる。

※配当性向は30%～40%程度であるのが理想とされ、また配当額は配当性向の高さだけでなく、利益額にも左右される。

当社は、「株主の皆様への利益配当を最重要事項と認識し、安定的な配当の継続を基本とする。」という方針を持つ。下記図表で連結業績と配当性向を考慮すると、当社の業績に上昇傾向が見られ、それに合わせて配当額を増額することは妥当だと言える。よって賛成。



【図表 1】 売上高・営業利益・経常利益(日本発条株式会社)



【図表 2】 一株あたりの年間配当金・配当性向(日本発条株式会社)

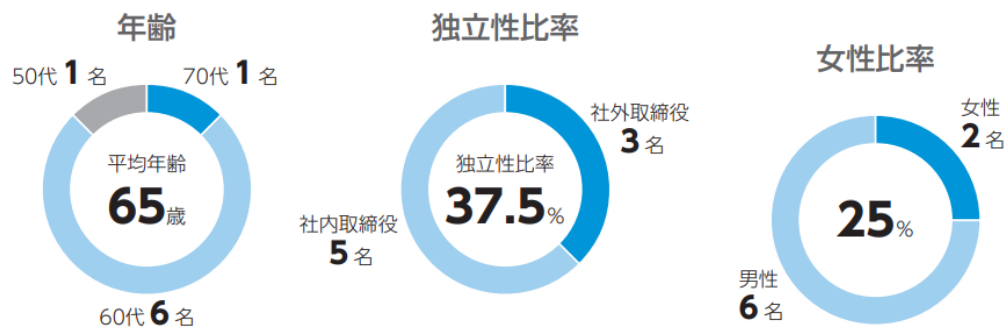
〈第 2 号議案 取締役 8 名選任〉

社内取締役で再任となる茅本隆司氏、貫名清彦氏、吉村秀文氏、上村和久氏はマネジメントに関する豊富な経験を有し、また研究開発・技術製造・人事・企画管理・営業など異なる部門の部長としての経験をそれぞれが有しており、バランスの良い状態だと言える。

新任の佐々木俊輔氏は、別社の取締役副社長を務めた経験があり、また営業部門における長い経験と深い知識を有しているため、新取締役として期待できる。

社外取締役で再任となる末啓一郎氏、田中克子氏、玉越浩美氏は就任以来、業務執行に対する監督機能を適切に果たしており、また運営について客観的な意見を期待できる。取締役 8 名の中で社外取締役が 3 名と、独立性比率は 3 分の 1 を超えており健全である。

取締役の平均年齢が 65 歳と高齢であることと社内取締役に女性がいないことが懸念材料ではあるが、各分野を専門とする者がバランスよくそろっており、各氏の経験の豊富さからこの取締役 8 名は適切だと考える。よって**賛成**。



【図表 3】 取締役候補の年齢・独立性比率・女性比率(日本発条株式会社)

氏名	当社における地位	独立役員	専門性および経験							
			事業運営・ 管理	技術・ 研究開発・ IT	営業・ マーケティング	財務・ 会計	法務・ リスク管理	海外経験・ 国際性	学術経験・ 専門分野	CN・産廃O 知見・推進
茅本 隆司	代表取締役社長執行役員、 CEO		○	○	○			○	○	○
貫名 清彦	代表取締役副社長執行役員、 CQO、CTO		○	○	○			○		○
吉村 秀文	代表取締役副社長執行役員、 CFO、購買本部本部長		○			○	○	○		
上村 和久	取締役専務執行役員、 企画管理本部本部長		○		○	○		○		
佐々木 俊輔	取締役常務執行役員、 営業本部本部長		○		○	○		○		
末 啓一郎	社外取締役	○					○	○	○	
田中 克子	社外取締役	○	○					○	○	
玉越 浩美	社外取締役	○				○	○			

【図表 4】 取締役候補が有する能力・経験(日本発条株式会社)

〈第 3 号議案 監査役 1 名選任〉

※常勤監査役の豊田雅一氏は今回の本総会終結の時をもって任期満了となるため、定時株主総会での選任を要する。

豊田雅一氏は金融に関する深い知識と長い経験、また他社の取締役副社長の経験を有している。海外での業務経験も持っており、それを生かした監査機能が引き続き期待できる。経験の豊富さと、豊田氏は満 63 歳であるが、もう一人の常勤監査役の清水健二氏は満 67 歳であり、豊田氏の方が若いということから豊田氏の監査役継続は適切であると考えられる。よって**賛成**。

〈第4号議案：監査役補欠者1名選任〉

※監査役会は人数3名以上の監査役で構成され、その構成員の半数以上は社外監査役でなければならない(会社法第335条第3項)。

当社は現在監査役4名で構成されており、社内取締役2名・社外取締役2名から成る。社外監査役として海老原一郎氏と古川玲子氏がいるが、法令に定める社外監査役の員数2名を欠くことになる場合に備え、監査役補欠者1名を置くことは妥当である。

候補者の向宣明氏は弁護士としてのキャリアを持ち、企業法務の専門的な知識・経験を有する。企業経営にかかわった経験はないが、当社の監査役補欠者に何度も選ばれており、万一の時には企業法務のキャリアを生かした経営が期待できる。よって**賛成**。

参考資料

本文中の図表は下記資料からの引用、又は下記資料の数値を用いて筆者が excel で作成。

- ・日本発条株式会社第100～103期株主定時総会 招集通知[最終閲覧日：2023.6.26.]
- ・2020年～2023年3月期 日本発条株式会社決算短信[最終閲覧日：2023.6.26.]

・Uleet(ユーレット)-日本発条(5991) <https://www.ullet.com/日本発条/役員>
[最終アクセス日：2023.6.26.]

・「監査役設置会社・監査等委員会設置会社・指名委員会等設置会社の特徴と違い」
<https://nao-lawoffice.jp/venture-startup/ipo/corporate-governance2.php>
[最終アクセス日：2023.6.26.]